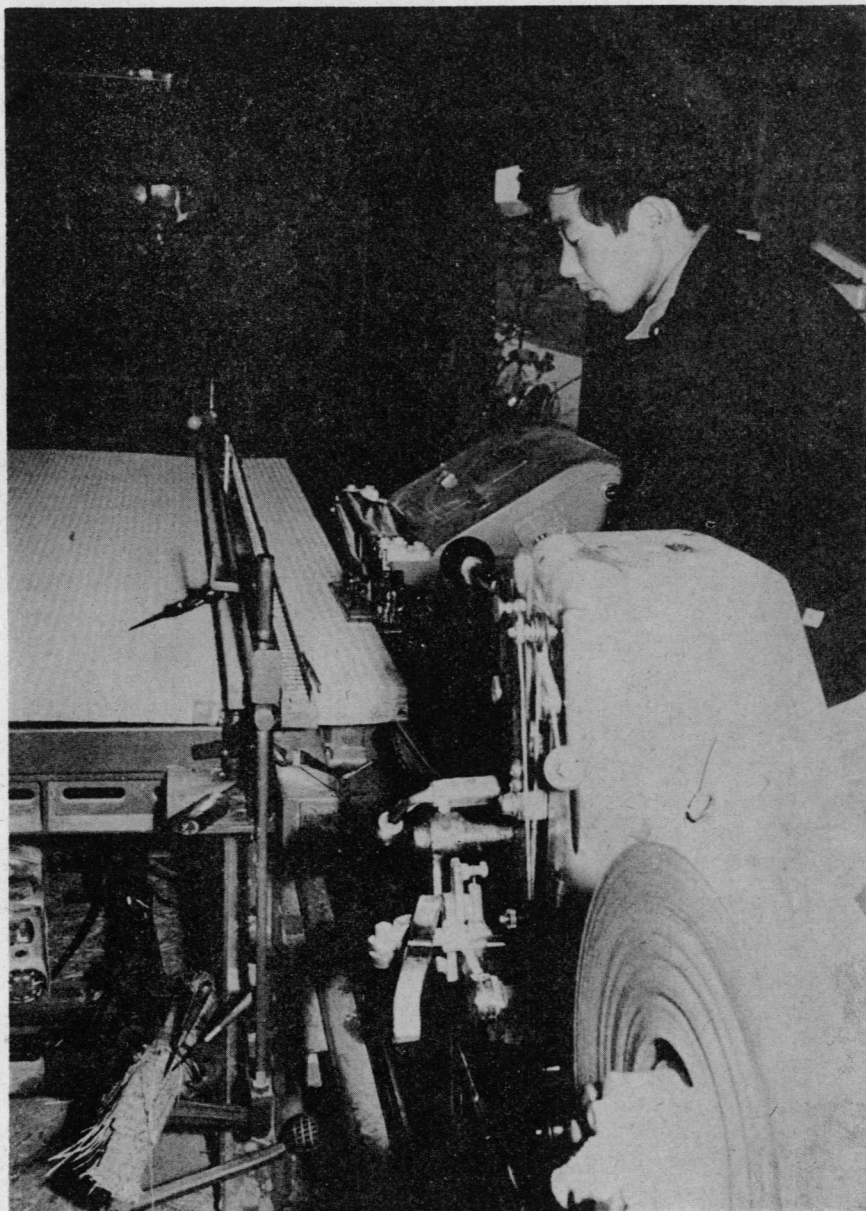


若い力

イグサのにおいもすがすがしい新しいタタミが一枚、一枚できあがっていく。
タタミづくりは、単純そうに見えるけれど相当な熟練を要する。
ゴザを床に縫いつけるカマチ縫い、ヘリの平縫い、かえし縫いといまはほとんど機械で行なうものの、一人前になるにはどんなにしても三年以上はかかる。
三谷文男君(24)「新財市」は、昭和三十七年に中学校を卒業、同時にこの仕事をはじめて九年。その間、富島高校夜間部に通うなど苦学を重ねて、いまはりっぱな畳師に成長した。

また、三谷君は仕事の余裕をみて、いま百号の油絵「水蓮」の製作に取組んでいる。「絵は幼少のころから好きでしたから、趣味として書き続けているだけです」とひかえ目に語るが、全国勤労青少年美術展に「夕陽」「谷間」などがこれまで連続三回特選、入選一回。ことしの日華美術展にも入選、また今月九日から橘デパートで開かれた県美術展にも、はじめて出品した「紫苑」が入選するなど、卓越した筆をふるい続けている。
絵と畳の製作。一見地味な仕事ではあるが、大きな目的に向かって走り続ける若駒である。

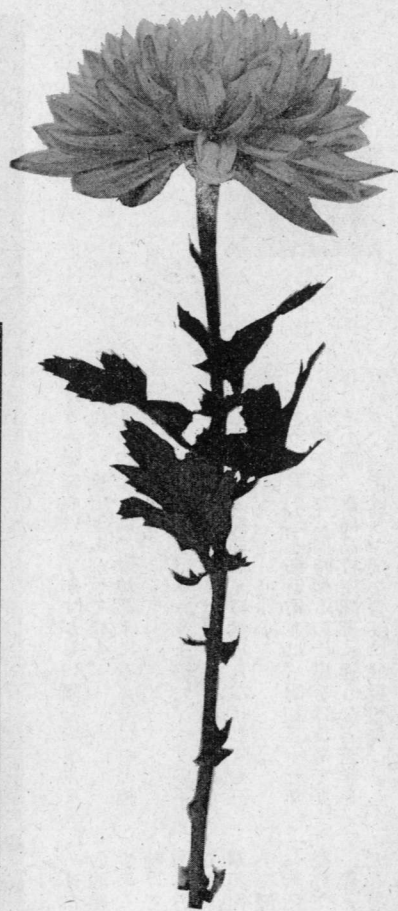


〇……………としておくと便利です……………〇

今月の主な内容

- 2 ページ……晴れて受賞の人(文化功労者と消防功労者)
- 3 ページ……写真集=おかあさん祭り大会
- 4 ページ……小さな願い、すなおな訴え
- 5 ページ……(子どもの声を聞く会から)
- 6 ページ……秋の火災予防運動はじまる福祉大会で功労者表彰
- 7 ページ……話題を追って。児童手当の受給申告受け付け中。
- 8 ページ……お知らせ。





晴れて受賞の人

文化の向上・郷土のためにつくす

大正十三年九月十一日に、日向市塩見新財市一〇六番地に生まれ、県立延岡中学、宮崎師範本科を卒業して現在岩脇中学校教頭。

昭和二十三年に宮崎正三氏（都町、田中道夫氏（原町）などと共に日向市美術協会を結成、以後現在にいたるまで協会の推進者として活躍、会の運営、振興にあたるほか、昭和四十四年には同協会会長に就任、日向市の美術振興、後進の

大正十一年十月二十日に、日向市財光寺往還に生まれ、県立富高農学校を卒業。市議会議員四期、市制施行当時から消防団副団長をつとめ、現在は旅館経営。

昭和四年四月、富高町消防組合員に就任して以来、兵役期間を除く現在まで三十二年九月月の長い間、つねに消防団の先頭に立ち団務に精励し、消防の使命達成に大きく貢献されました。とくに昭和二十五年には、消防の目的は、初期消火につとめることとはもちろん、火を出さないためには、民衆が一体となって地域住

育成指導に努力されています。昭和十九年、戦意昂揚全国美術展に「阿蘇」入選。県美術展には第一回展から連続して入選、入賞三回。



個展もひらき後進指導

市文化功労者（芸術）
刈川 水保氏

私財で警鐘台建設

消防功労で勲五等瑞宝章
渋谷 作一氏



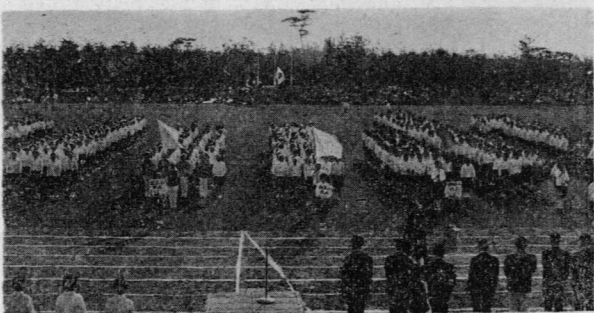
民の生活安定、治安維持につとめることが何より大切と、町内の梶木、塩見、財光寺の三カ所の警察官駐在所が改築されたときは、警務官の木材の採下を受け、団員と共に十の山奥からこの資材の搬出に奉仕され、さらに昭和三十六年には、消防団の活動はまず施設の整備からと、財光寺、秋留の四カ所に、私財を投じて警鐘

昭和四十六年度（第四回）の日向市文化功労者がきまり、さる三日の文化の日、市長室でその授賞式が行なわれました。これは、学術、技術、体育の三部門には該当者がなく、絵画をとおして日向市の美術振興、文化水準の向上につとめてこられた、刈川水保氏（47）岩脇中学校教頭が、ただひとり芸術部門に決まりました。また地方自治、教育、医療などと道はちがっても目的は同じ。郷土のため、社会のため長年つとめてきた、県内二十二人のかたが同じ文化の日の三日、秋の叙勲とまじりました。この中には、昭和四年から兵役を除く三十二年間、日向市消防団副団長をつとめるなど、消防の使命達成に貢献された、渋谷作一氏（59）財光寺の勲五等瑞宝章も含まれています。秋晴れの日、それぞれの「章」を胸にされた、両氏の横顔をご紹介します。

ど、郷土日向市の魂をキャンパスに描き続けておられます。また、師範学校卒業後、教職にたずさる同氏は、児童画の色彩を通して、児童の心理的背景を追求するなど、美術教育の研究を重ね、その間、教育雑誌、講演、研究会で研究実績を発表。美術を通して、日向市の文化水準の向上とその育成につとめてきた功績が高く評価されています。

さらに、この火災で市役所の火が隣接アパートに移ったときは、単身で飛び込み、一階、二階の老人、婦女子の誘導にあたり、一人の負傷者も出さずにすんだことは身の危険もかえりみず「人命第一」を貫きとおされた、氏の消防精神によるもので、いまだに消防人のあいだで語り草になっているほどです。こんどの受賞は、こうしたこれまでの実績、さらには十六年間（四期）の市議会活動の中で、消防力の増強を力説され、今日の常勤、非常勤の消防体制を築かれた功績によるものです。

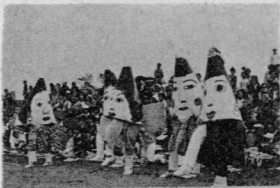
秋晴れにめぐまれ、小学校区別八団が堂々の入場。



豊かな郷土建設を母親の手で

おかあさん祭り大会に三千人

「明るい日向市の建設をわたしたち母親の手で」のスローガンをかけ、さる三日の文化の日、小倉が浜運動公園で開かれた「第一回おかあさん祭り大会」には約三千人が参加、競技や演技で楽しい一日をすごしました。



各団ともはなやかに応援合戦

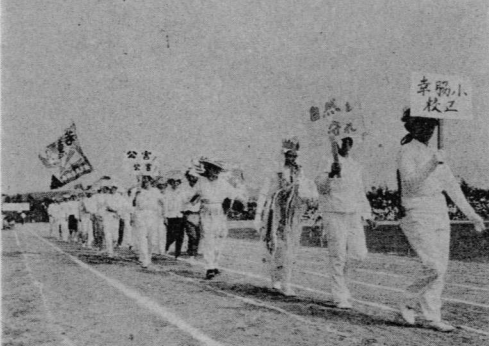
今月は、この大会を通して「時間を正しく守り」「学習活動をする」「平和な家庭建設」を誓いあいながらしっかり結びつたおかあさんたちの力を、いくつかのフィルムでご紹介することにしました。



目的達成には、何よりも団結が大切、お互いに力の結束をたしかめあう綱引き。

ブラカードで交通事故、犯罪防止、公害防止をアピール、財光寺小学校区。

まだ若々しく、みごとなフラダンスをひろう、富高小学校区。



最大の呼び物は、各団の趣向こらした仮装行列、日知屋小学校区の浦島太郎。

つくる人



わたしたちの心にうるおいをもたせてくれる緑や花。日向青年会議所のみなさんが、さる二日、小倉ヶ浜運動公園を「緑の公園」にしようと、クス三本山モモ二本、計十万円相当の大きな木を植えました。同会議所の話では、毎年公園の広場や街路などの公共の場所に「明るい緑の町づくり」を一日でも



子どもの願う公害のない「緑につつまれた工業都市」づくりは、わたしたちおとなの責任であり義務です。

小さな願い すなおな訴え

さる 11 月 13 日、昭和 46 年度の「日向市子どもの声を聞く会」が、市役所大会議室で行なわれました。意見発表は市内の小中学校の代表 24 人で、交通事故、公害問題、おとなへの願いなどについてすばらしい意見を発表しました。紙面の都合で、全員の意見発表を掲載できないのが残念ですが、ここに 6 人のよい子の意見をご紹介します。

交通公園の建設を

財光寺小六年 飯千泰彦

ぼくは今日の交通ルールはたいへんみだれていると思います。集団登下校をしているとひっきりなしに通る自動車にひやひやしながら下級生の世話を焼いて登校しています。テレビや新聞で毎日のように「交通ルールを守りましょう」と注意していますが飲酒運転やいねむり運転がいつかこうにへりません。また歩行者も飛び出しやむりな道路の横断がたえないようです。こういうことではなかなか事故がへらないのも無理はないと思います。

それにはまず小さい時から正しい交通規則を覚えらるる交通公園のような施設をたくさん作つたらよいと思います。また歩道と車道をはっきり区別して陸橋のような立体交差するしくみを作り人と車がでるだけ接触しないようにした道路を良くしたい。でもそうして自然が壊れたら、すみなれた土地はなくなってしまう。そういうことも出てくると思います。そうゆうこともよく考えて計画をねり実行していきたいと思ひます。でもいくら道路がよくなり、安全な車がでてきてもそれを運転する人がしつかりしていなければなんにもなりません。運転者も車からおりれば歩行者ですから常に歩行者のことを考えていなければいけません。



飯千君



長渡君



田村君



黒田君



原田さん



高橋さん

青い空・海を

いつまでも

細島小六年 田村直俊

家に帰れば父母は健在だし、ぼくは、いま何の苦労もなく楽しい生活を続けています。しかし、気がかりなことがあります。ひとつは交通事故の問題、いまひとつは公害の問題です。交通事故では毎年一万六千七百人の死亡者、八十万人の負傷者がでています。前は自動車のことを走る凶器といっていました。が、いまは走る物といっているほどのです。どうしてこんなに事故が多いのでしょうか。酔っぱらい運転、居眠り運転、スピード違反などを起こす人は、みんな横着な気持ちで運転しているからだと思います。

ぼくは、空も海も青い、緑にまみれた平和な細島の町と、いかに楽しい生活を、いつまでもくずさないで欲しいと思っています。

住みよい町は

みんな協力して

財光寺小六年 原田玲子

いま、わたしたちの国では、公害と交通戦争という二つの大きな問題で大変なことが起っています。政府の人たちや県の人たちがこのような問題をなくすために、いろいろと苦勞し、努力されているようです。しかし、すこしもへらないのはどうしてでしょうか。私は、自分勝手なことばかり考へて、ほかの人たちのことを考へない、みんなが心をあわせて協力しないからだと思います。熊本県のみなまた市では、川でとった魚をたばつかりに休め

不自由になったり、いままでたくさん魚のいた、鳥たちが住んでいた宮崎市の大淀川では、この秋にはハゼがつかなくなった。毎年何千羽もどんでて人々をたのしませていたカモがことしは、すこしかたんでこないのだそうです。こんな話を聞くと本当に悲しくなります。わたしの学校では、集団登下校するようにしてから一件の交通事故も登下校中にはないそうです。日本国中の人が、公害や交通事故をなくすために協力すれば必ずこんな問題はなくなると思います。おとなの人たちはなぜ「協力しよう」と呼び合はないのでしょうか。私には、そんなおとなの気持ちがわかりません。そしてよごれていく自然を知らないふりをしていておとなにはなりたくないと思います。

ごみのない町づくり

日知屋小 高橋紀子

もし、わたしが日向市長になれば、第一に道路に十メートルから十五メートルおきにちり箱をおきます。日常わたしたちは、平気でちりを道路へすてます。わたしの町にある下原公園でも紙くずやリンゴの食べかすなどをよく見かけるのです。これではいつまでもきれいな町にすることができません。

す。特に商店街などは、人が多いのに自転車などが横にずらりとならんでいます。車は多いし、人も多く、それにまだ自転車道はほとんどありません。これはきちんとして、きれいな町にしたいです。しかし、今のわたしたちができることは、わたし自身が気をつけてちりを落さないようにすることとみんなにこんなことに関心をもってもらふことです。また、交通の施設にしても、市でいろいろ作ってはいますが、今のところでは、自分の命は自分で守っていかねばなりません。

最後に思ったことは、小さいことから大きなことまでありますが、やりたいことのいっぱいある今だに、せいいっぱい生きることができたいです。

交通ルールが変わります

夜間の後続車もライトは下向き

道路交通法が六月に一部改正され、十二月一日からいよいよ実施されます。その主な点は次のとおりです。

歩行者がガケなどがあるため道路の右側端を歩くことが危険なとき、その他やむをえないときは、道路の左側端を歩くことができます。*車の通行を禁止した道路、いわゆる「歩行者天国」や「買い物道路」では道路の中央など自由に歩いてかまいません。

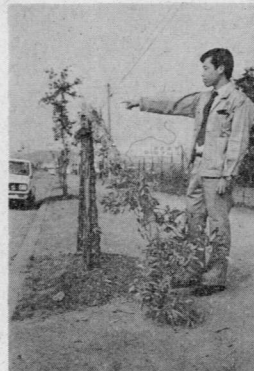
運転者*歩行者のわきを通る車は、歩行者との間に安全な間隔を保つが徐行しなければなりません。*バスが停留所から発進しようとして進路変更の合図をした場合は

と云うのです。全校委員長になってからまずわたしは、いっしょにけんめい小学校を美しくしようと思ひました。一人一人が責任をもち、心をこめて学校をきれいにしようと思ひます。次にはきれいな学校にするには心のふれあいができる「おはようございます」のあいさつを呼びかけることだと思ひます。おはようございます。最後に正しい行ないをすると言ふ事ですが、これは全校委員で作文を書いてみんなに正しい行ないのしようかをしたいと思います。これがぼくの夢であり希望なのです。小学校最後の日目を有こうに全校委員長としての責任をもちたいし、日向市一の学校にして卒業したいものだと思います。

バスは、交差点にはいることができません。

バスは、交差点にはいることができません。

こわす人



ら引き抜かれて持ち去られたものあり「これから大きく育つて、日向市の町を緑でつつもうとしていたのに」と関係者もガッカリしています。(下)

市民憲章にもあるように、公共の物を大切に、これからの日向市を、緑いっぱいの町にしていきたいものです。

バスは、交差点にはいることができません。

秋の火災予防運動



その火を捨てないで……

火災の発生期を迎えて、二十一日から全国一斉に「秋の火災予防運動」がはじまります。運動は十二月二日まで進められますが、この期間中にぜひ一度、家庭や職場で防火会議を開き、どうしたら火事を起こさないで済むか、もし起きた場合はどうしたらよいかなどを、みんなで話し合ってみましょう。

火災で特に恐ろしいのが焼死事故です。ことし、日向市でもすでに二十三日の火災が発生し三千五百万円が灰になってしまいました。幸い焼死者はでいてませんが、全国的な火災による死亡事故をみますと、住宅火災による死亡が圧倒的で、なかでも老人、子ども、病人の焼死が多くなっています。

また夜間、就寝中の火災から死亡事故が発生したのもや、煙による死者が目立ちます。日ごろから実際の火災の場合に役立つ避難方法を心得ておきたいものです。

消防署では、運動期間中、みなさんの家庭や事業所を訪問して、

大切なのは仲間愛

福祉功労者も表彰

第3回 福祉大会

社会福祉事業法、児童憲章制定二十周年を記念して、第三回日向市福祉大会が十一月十日、日向勤労青少年体育センターで開かれました。

大会には市議会議員、民生、児童委員その他関係団体のみなさん約三百人が出席し、物故民生委員に黙とうを捧げたあと、三尾良次郎社会福祉協議会長が「幸福ということばは、わかったようでわからない。お金や品物が豊かであること

しめだせ一大気汚染 ばい塵計も購入



日向市物産展示即売会

市生活課公害係では、日向市の青い空、きれいな空気を守るために、このほど「降下ばい塵計」を購入しました。

この機械は、空から降ってくるいろんなホコリを集めるもので、一定期間、一定の場所を集めたホコリを分析すれば、その地域の汚染度がわかるしくみです。

今年九月に、さっそく工場の多い會根地区に取り付け、大気汚染のしめ出しに乗りだしました。

このほか、長時間継続して騒音を測定記録する「高速レベルコーダー」や、けい帯騒音測定器、水質を検査する「ペーパー計」、採水

宮の下で市政座談会

先月二十八日、午後七時から宮の下公民館で市政座談会が行なわれました。当日は市側から助役、総務課長ら関係者十二人、地元側から約四十人が出席して「宮の下地区は市の南端にあたるため、市政のあり方について十分理解できない点もある。座談会の中から問題点を引き出し、地元としても市のあり方を理解して協力体制づくりをしていきたい」など、活発な意見が出されました。



老人クラブが汗の奉仕

細島の老人クラブ黒潮会会長小出精二郎さん(78)と、若潮会会長佐藤松二郎さん(74)ら役員のみなさんと、クラブ員の中にもとくに元気な十人が、先月二十八日、細島の「黒竹山」で竹ボウキ五百本を作り、細島小や保育所地区内の神社、お寺にくばりました。この奉仕作業は三年前から続けており、会長の小出さんは「少しでもお役に立てば毎年続けたい」と語っておられました。

話題を追って・わだいをあつて・ワダイヲオツテ

三宅さんが金メダル

第七回全国身体障害者スポーツ大会が、さる十一月六日と七日の二日間、和歌山県で開催され、本県代表の三宅賢明さん(市役所勤務・財光寺)が、卓球の個人戦で優勝、晴れの金メダルを獲得しました。三宅さんは、小学校四年生のとき、左足が骨膜炎にかかり、足くびが曲がなくなり、また三年前には骨ずい炎で長期療養するなど不自由な足にムチ打って練習を重ね、こんどの優勝を得たものです。



ヘルメットで通学

富島中学校(佐藤利校長)には、いま千四百四十人の生徒が通学しており、このうち四十三割にあたる四百九十人が自転車通学です。同校では、こうした自転車通学生を交通事故から守るため、一日からヘルメット通学をはじめました。このヘルメット着用は部落懇談会などで一般父兄からも希望がでていたもので、一個千円、いま四百九十人全員が着用、安心して通学しています。



来春から三千円

児童手当の申告受け付け

次代の社会をになう児童の教育費軽減と、児童がすこやかに育つことを目的とした「児童手当」が来年一月から支給されます。

市福祉事務所では、いま受給該当者の申告受け付けを行なっていますので、つきにあてはまる人は十二月二十五日までにお申し出ください。

この児童手当を受けるためには住所地の市町村長に認定請求書を提出して、支給を受ける資格があるかどうか認定してもらうことがひとつの要件です。

いくら受給資格があっても、この認定がないと受給できませんのでくれぐれもご注意ください。

*受給該当者は、昭和四十七年一月一日現在で、昭和四十七年一月一日現在で、昭和四十七年一月一日現在で五歳に満たない児童を養育する人です。(当初は五歳未満ですが、段階的に拡大されています。)

この児童手当を受けるためには住所地の市町村長に認定請求書を提出して、支給を受ける資格があるかどうか認定してもらうことがひとつの要件です。

老齢福祉年金の請求もあればありませんか

みなさんがたの中で、七十歳をこえていながら、まだ老齢福祉年金をもらっていない人はありませんか。もちろん公的年金を受給しているとか、所得が一定以上あるために年金をもらえない人もありますが、それとくわすかな人に限られています。

年金は、請求の手続きが五年以上も遅れてなされると、もらう権利がなくなります。七十歳をこえている人で、まだ老齢福祉年金をもらっていない人は、早目に市役所年

杉本慎作、児玉唯治、西川鹿之助、山下奈良一、野地喜代士、*団体

日向市社会福祉協議会。

*老人福祉功労者 山元きくの。

*児童福祉功労者 黒木初一、黒木親光。

*地区福祉功労者 鈴木篤美、島原義海。

*老人福祉事業協力者 旅館東君トヨタ自動車KK。

なお、このほか社会福祉事業高額寄附者として、黒木春美さんほか四十五人、福祉会館備品寄附者として五人、共同募金協力者として市理美容容青年学級など四団体も表彰されました。

おしらせ



離農者の技術養成

転職訓練生を募集

米作の転換、減反などで、最近
は農業をやめて転職、転業、さら
には遠く県外へ季節労働者として
働きに行かれる方が多くなつて
います。

市農業委員会では、こうした離
農者対策のひとつとして、こんど
「農業者転職訓練生」を募集するこ
とにしました。

これは、現在農業をやめ、また
これから農業をやめて別な職業に
つこうとされる方が、少しでも
有利な職種に就職できるようにと
技術指導を行なうもので、訓練内
容はつぎのとおりです。

＊科目 訓練科目は「左官」です。
＊期間 十二月から三月まで、日
向専修職業訓練校(市内公園通)
で訓練します。

＊費用等 授業料は無料で、実習
用器具および教材は無償で貸
与します。また訓練期間中は、
日額八百円程度の手当が支給さ
れます。

＊受付期間 十一月三十日までで
すから、ご希望のかたは早目に
市農業委員会へお申し込みくだ
さい。なお、くわしいことは同
委員会(電話二二二一)へおたず
ねください。

成人される方へ

新しく二十歳を迎えられた人を
祝います「成人式典」は、来春一

月十五日に勤労青少年体育センタ
ーで行なう予定ですが、市教育委
員会では、いまこの式典参加者の
名簿作成をすすめています。

該当者は昭和二十六年四月二日
から昭和二十七年四月一日までに
生まれたかたですから、つぎの要
領で教育委員会社会教育課に申し
込んでください。

＊住所(手紙が届くようにくわし
く)氏名、生年月日、職業と保
護者の氏名、住所をご連絡くだ
さい。

＊申し込みは、ハガキでも電話で
もけっこうです(電話は二二二一
番)。

＊申し込みをされたかたに対して
案内状を差しあげます(郵送)
＊式場では記念品を贈るほか、ア
トラクションなどもあります。

＊申し込み期日は十二月十五日ま
でとします。

＊申し込みをされたかた以外は、
式典当日の受け付けはいたしません

転校手続は市民課で

転入や転出によって、児童生徒
の学校が変わる場合の転校手続は、
市民課で行ないます。

これは、住民の異動についての
事務を、市民課で一本化している
ため、これによって四階の教育
委員会事務局まであがっていくわ
ずらわしさがふかれます。

また、細島、平岩、美々津地区
のかたがたは、それぞれ支所で
あつかっています。

一時恩給を支給

恩給法の一部が改正され、つぎ
に該当するかたには一時恩給が支
給されることになりましたので、
印鑑をもって市福祉事務所厚生係
で手続きをすませてください。

＊旧軍人としての兵役期間が三年
以上七年未満のかたで、さらに
下士官(伍長)以上の軍人として
一年以上の経歴のあるかた。

ただし昭和四十六年十月一日現在
軍人恩給、または扶助料、遺族年
金を受けているかたは除かれます

銀杯が贈られます

日支事変以降の叙勲者で、金鶏
(一)勲章叙賜一時金を受けられた
かたで、昭和三十八年四月一日現
在の生存者、またはその後死亡さ
れたかたの遺族に、総理大臣から
銀杯が贈られます。該当者は市福
祉事務所までご連絡ください。

校区別の健康優良児

市内各小学校区別の、健康優良
児がまきまり、市教育委員会と学校
保健会から表彰されました。

学力、体力、運動能力など総合
して審査し、とくにすぐれたよい
子ばかりです。

富高小学校(六年)、村上雅彦君、
富岡真由美さん。

日知屋小学校(六年)、千代反田滋
君、黒木美奈子さん。

財光寺小学校(六年)、児玉和広君
佐藤容子さん。

細島小学校(六年)、羽座川稔君、
甲斐美恵子さん。

塩見小学校(六年)、大城十三男君
長友裕子さん。

平岩小学校(六年)、児玉修君、那
波由美さん。

幸臨小学校(六年)、藤高敏博君、
甲斐福子さん。
美々津小学校(六年)、河野睦弘君
橋口結花さん。

年賀状、小包は少なくともつぎ
の期日までに差出してください。

＊小包 十二月十五日
＊年賀状 十二月二十二日

自衛官募集

自衛隊ではつぎのとおり自衛官
を募集しています。

婦人自衛官(陸上)、十八歳から
二十五歳までの女子。自衛隊生徒
(陸海空)、十五歳から十七歳まで
の男子。自衛官(陸海空)、十八歳
から二十五歳までの男子。

くわしいことは自衛隊日向分駐
所(電話六九一四)か市役所総務課
(電話二二二一)番へおたずねくだ
さい。

先生の免許をお持ちの
かたはいませんか

お産や長期病気のため、小中学
校の先生が休まれる間、臨時的に
勤めていただくかたを市教育委員
会がさがしています。

資格は小中学校教諭の免許状を
持っているかたで、年齢は問
いません。

くわしいことは、市教育委員会ま
でお問い合わせください。

「ウツカリ」はめいわく

数字の配列がよく、だれにでも
すぐ覚えらるる電話番号がありま
すが、それはそれなりの悩みがあ
るようです。ある人が〇六〇〇番
の電話番号がついて非常に喜んで
いたのですが、いざとなると間違
い電話がヒンパンにかかってくる
。よく調べたら同じ局の〇〇六

〇番が電話局の故障係だったとい
うわけです。これはかける方のウ
ツカリが原因ですが、先方にも迷
惑はなし。電話は本来ビジネス
や暮しを便利にするものですから
メモを見ると、正しくダイヤル
するとか、電話のマナーを忘れた
いようにして役立てていたのだ
いものです。(日向電報電話局)

インフルの追加接種

市保険衛生課では、さきに各地
区で、インフルエンザの予防接種
を行ないましたが、いろんな事情
で受けられなかった人のために、
つぎのとおり追加接種を行ないま
す。ことし最後です。未接種
のかたはぜひ受けてください。

時間は一時半から三時半まで。
会場は市役所です。

第一回の接種 十二月三日
第二回の接種 十二月十日

観光絵はがき発売

日向市観光協会では、このほど
すばらしい観光絵はがきをつくり
ました。

空からの市街地、小倉ヶ浜、美
々津港の日の出をカラー写真で印
刷。三枚一組三十円。市商工水産
課にありますから、日向市紹介に
ぜひご利用ください。

人口

(11月1日現在)

男	22,981人	前月より24人増
女	25,006人	33人増
計	48,987人	57人増
世帯数	13,349	31増